

令和6年度大学の生活と学びに関するアンケート（在学生/卒業年次）アセスメント報告

1. アンケート概要

本アンケートは、学生の大学生活・環境の把握、また大学生活での満足度とディプロマポリシーで掲げた身に付く能力を測るため実施している。集計した結果は、全学にフィードバックするとともに、教育活動や学生支援、施設・設備等の改善に活用する。

2. 基礎情報

(1) 実施時期

在学生：令和7年2月下旬～4月上旬（UNIVERSAL PASSPORT 通知）

卒業年次：令和7年3月19日（卒業式ガイダンス）

(2) 対象：在学生1～3年生、卒業年次

(3) 回答率

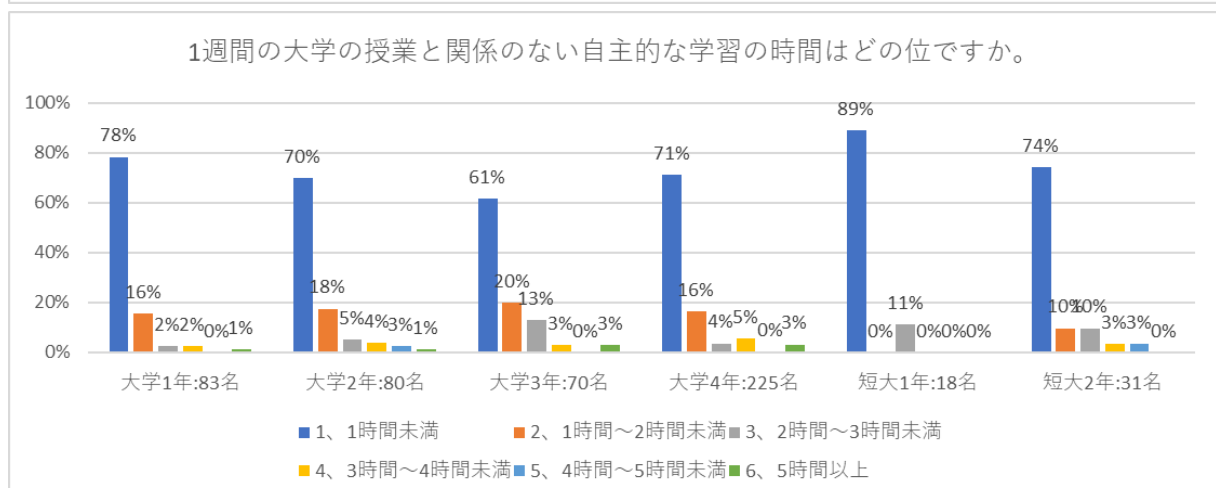
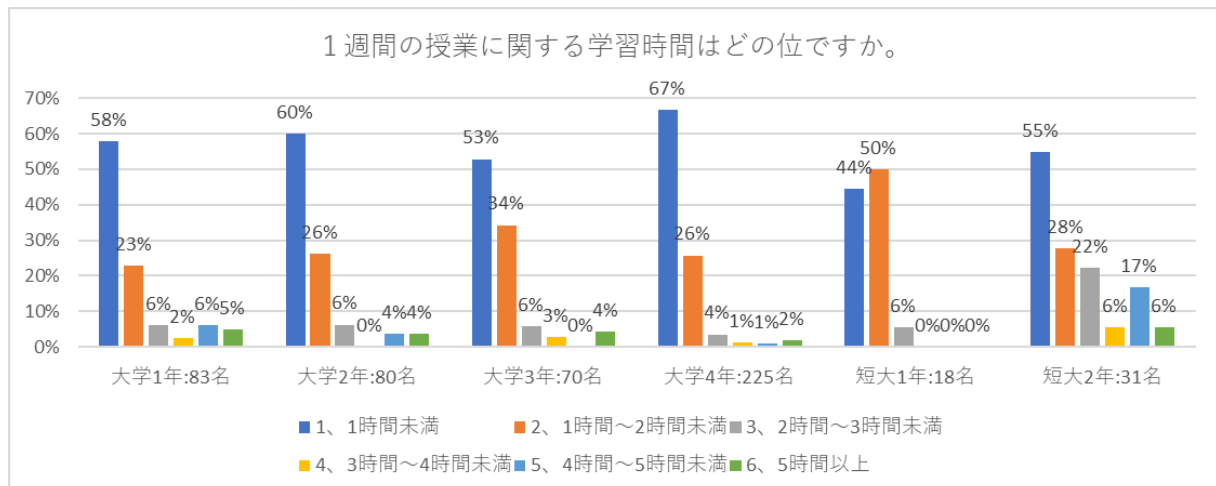
大学在学生：793名／回答数233名／回答率29.4% 短大在学生：27名／回答数18名／66.7%

大学卒業年次：292名／回答数227名／回答率77.7% 短大卒業年次：48名／回答数29名／60.4%

3. アンケート結果分析

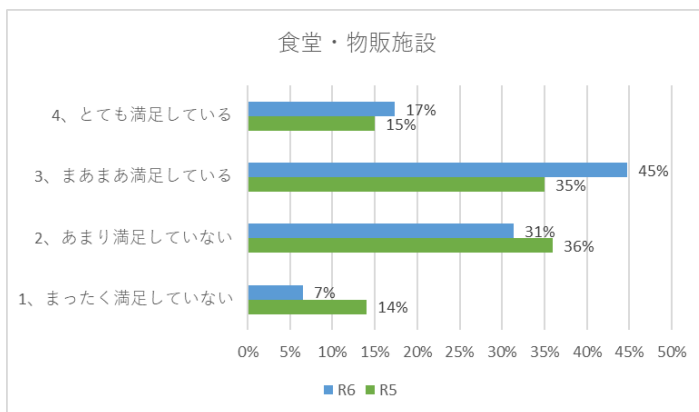
(1) 学生生活

学生生活の学習時間の設問について、学年毎の結果を確認したところ、短大1年生は「1時間未満」より「1時間～2時間未満」と回答した割合が高かったが、全体的には「1時間未満」と答えた学生が多く学年ごとの差はみられなかった。



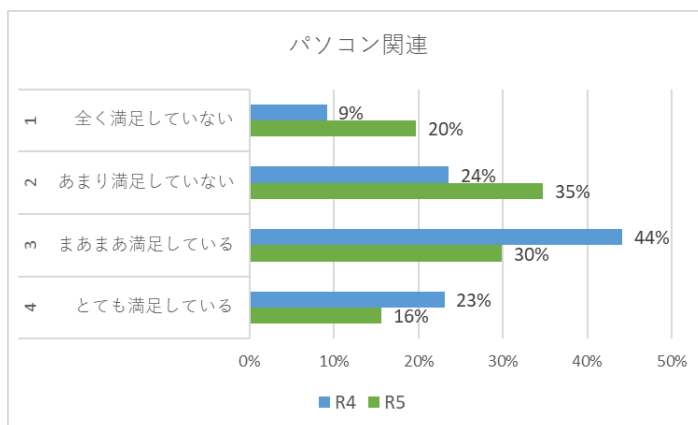
(2) 満足度前年度比較

教育環境の満足度が低い2項目を経年比較。

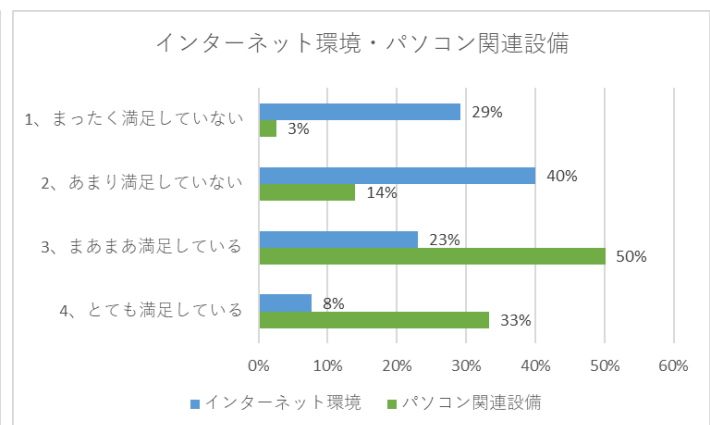


「食堂・物販施設」は昨年度のリニューアルを受けて、「とても満足している」「まあまあ満足している」と回答している層が前年度より増加している。「パソコン関連の設備」については、令和6年度より、「パソコン関連設備」と「インターネット環境」に設問を分け、より詳しく調査を行った。結果、パソコン関連設備の満足度は比較的高く、Wi-Fi 環境を含むインターネット環境の満足度が低い事がわかった。

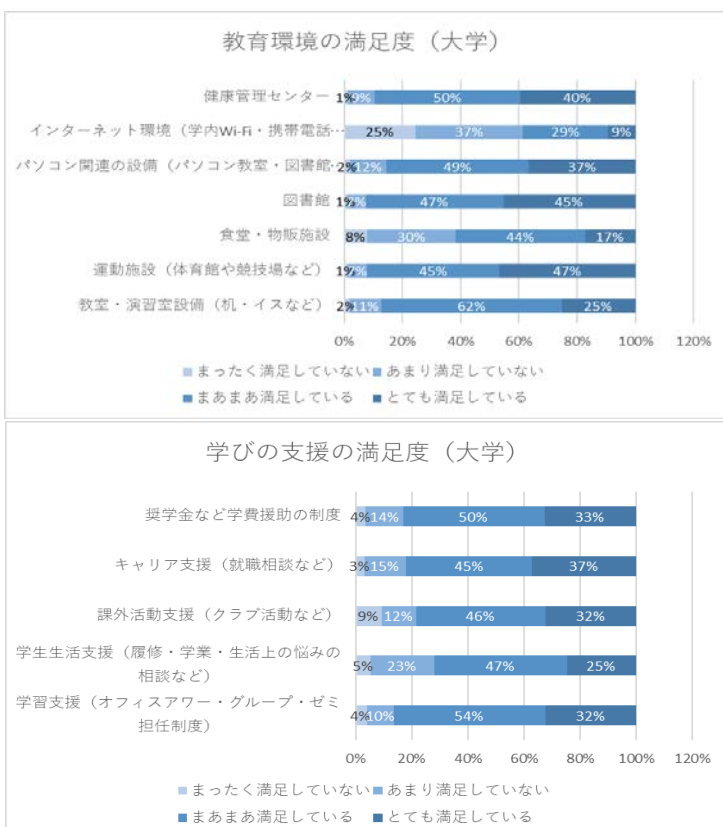
↓ 令和4年度・5年度経年比較



↓ 令和6年度



(3) 卒業年次の満足度（大学）

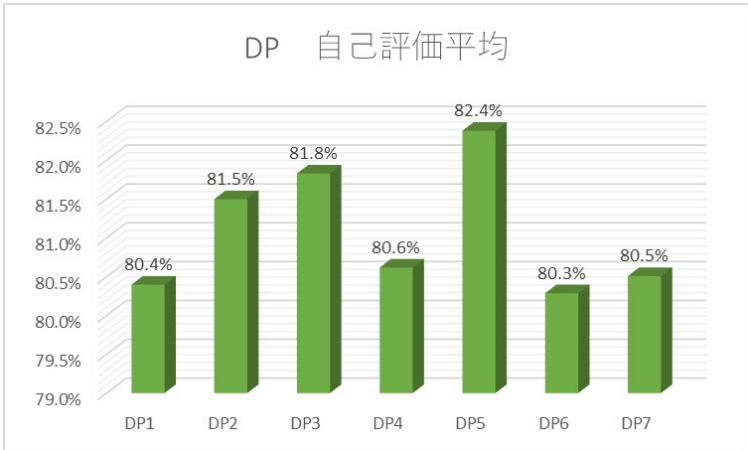


例年、「食堂・物販施設」および「パソコン関連の設備」の満足度は他と比較し低い傾向にあるが、食堂については昨年度のリニューアルを受けて満足度が上昇した。しかし、自由記述には食堂・売店のメニューや商品の充実度についての意見が散見した。

今回よりパソコン関連とインターネット環境に分けて調査したところ、インターネット環境は半数以上が「まったく満足していない」「あまり満足していない」と回答した。

その他の教育環境、学びの支援についてはある一定の満足度を得ている。

(4) DP 毎の成長実感 (大学 4 年生 R6 年 4 月時点)



大学 4 年生を対象に DP 毎の成長実感
(自己評価)を比較した。

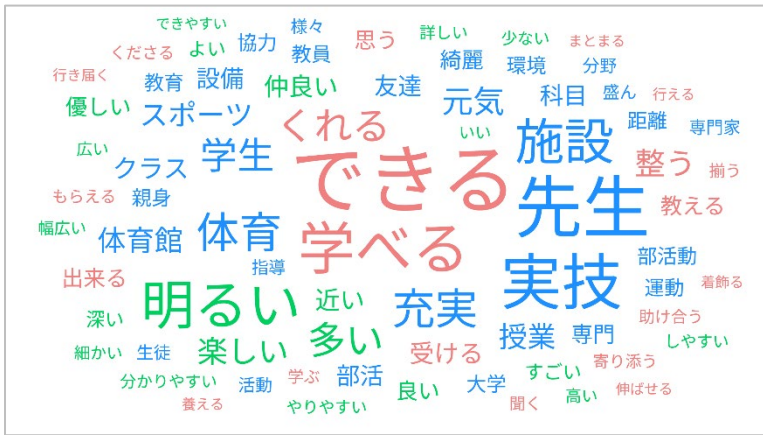
DP5 の成長実感の平均値が特に高いが、その他の DP についても平均値が 80%以上であり、多くの学生が卒業時に成長を実感していることが見受けられる。

DP5：多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができる。

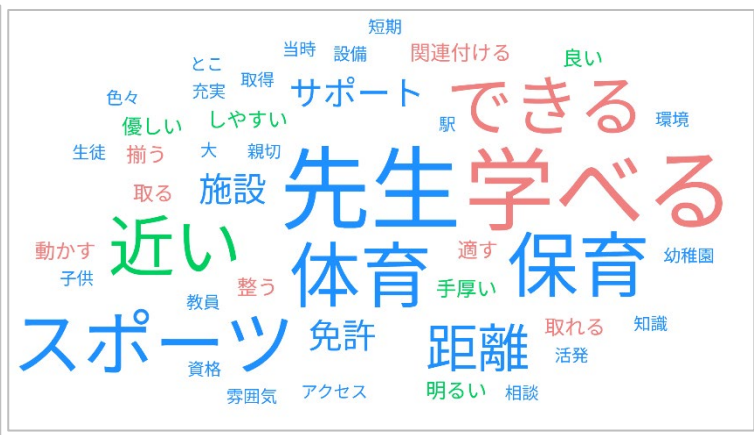
(5) 自由記述 (卒業年次)

①大学・短大の良いところ

【大学】

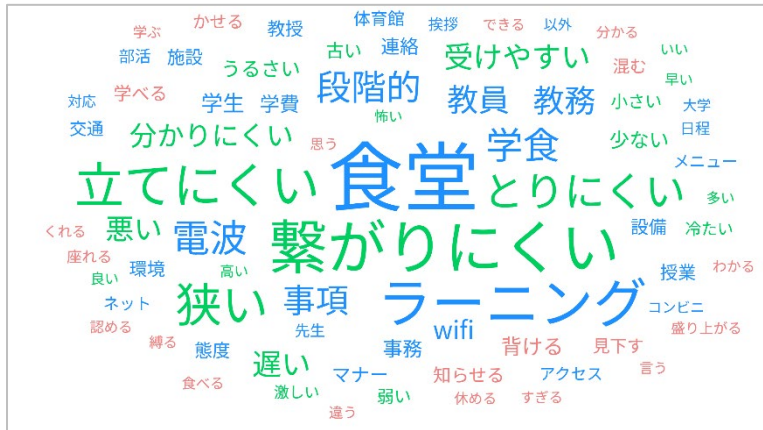


【短大】

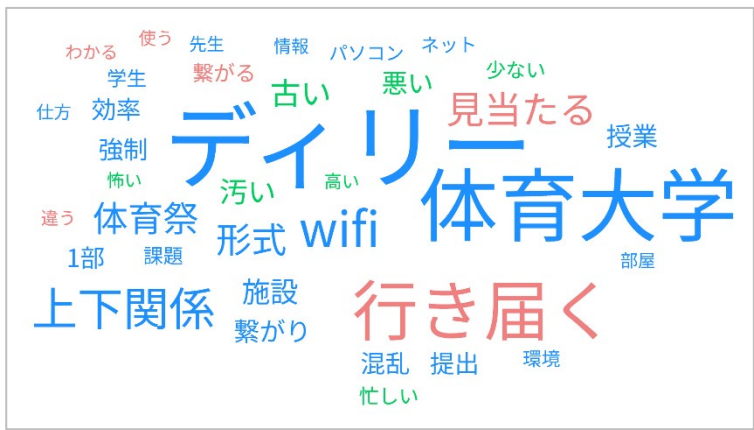


②大学・短大の悪いところ

【大学】



【短大】



(6) 今後の取り組み

- ①アンケート結果を基に充実した学生生活を送るための指標を作成し、学生へサイネージ等で周知する。アンケート結果をもとに、改善の取り組みが行われていることを周知し、在学生の今後のアンケート回答率アップを図るとともに、アンケート実施方法を検討する。
- ②満足度結果については、食堂のリニューアルや卒業式の袴など改善への取り組みを段階的に取り組んでいる。今後は改善後の満足度を経年的に確認することと、満足度の低い「インターネット環境」に対し、関係部署に情報を共有し、改善策を検討していけるよう働きかけていく。
- ③DPの成長実感は、学生に学修ポートフォリオを認知させることから始め、到達度を可視化し学生が体系的にカリキュラムと身に付ける能力を確認できるように進めていく。学修ポートフォリオについては R7 前期オリエンテーション時に全学年に説明を行った。